

# 環境活動レポート

2016年

## 株式会社大川商店

---

### 対 象 範 囲

対象事業所 本社 神奈川県鎌倉市笛田1-8-17  
リラクゼーション OOKAWA 神奈川県藤沢市橘1-16-1

事業活動 金属リサイクル、産業廃棄物の中間処理業、産業廃棄物収集運搬  
一般廃棄物収集運搬、リラクゼーション

対 象 期 間 2016年3月～2017年2月

発 行 日 2017年9月19日

# 目次

I	環境方針	1 Page
II	事業の概要	2 Page
III	対象範囲、レポートの対象期間及び発行日 (表紙)	表紙
IV	環境目標 本社 ・ リラクゼーション OOKAWA	6 Page
V	環境活動計画	8 Page
VI	環境活動実績及び環境活動の取組結果の評価	
	VI-1 本社	9 Page
	VI-2 リラクゼーション OOKAWA	10 Page
VII	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	11 Page
VIII	代表者による全体評価と見直しの結果	

# I 環境方針

当社は、経営理念に基づき、環境との共生・調和・環境への取組みを最重点課題として認識し、自ら責任を持ち、全社一丸となって環境との共生・調和に配慮した事業に取組み、環境負荷を継続的に削減していきます。  
受託した産業廃棄物の収集・運搬・中間処理・金属のリサイクルのためにガソリン・軽油・電力などのエネルギーを消費しています。これらの事業活動に伴う環境負荷を削減するため、下記の環境への取組みを行います。

---

## 活動

---

- 1 車両及び重機の効率的な運転を行い、エネルギー使用量を削減
- 2 社内の電気使用のあり方を見直し、省エネルギーに取り組めます。
- 3 近隣に対して、騒音・振動の対策を行います。
- 4 グリーン購入に取り組めます。
- 5 排水・廃棄物の削減に取り組めます。
- 6 環境関連の諸法規及び当社が同意した協定を遵守します。
- 7 環境活動レポートを公表する等、特に地域住民の皆様との環境コミュニケーションに積極的に取り組めます。

2015年10月1日改定  
株式会社 大川商店  
代表取締役 大川 雅充

## Ⅱ 事業の概要

### 1 事業所及び代表者名

株式会社 大川商店  
代表取締役 大川雅充

### 2 所在地

本社 〒248-0027 神奈川県鎌倉市笛田1-8-17  
リラクゼーション  
O O K A W A 〒251-0024 神奈川県藤沢市橋1-16-1

### 3 環境管理責任者指名及び担当者連絡先

環境管理責任者 大川 令子  
連絡先 TEL 0467-31-6810  
FAX 0467-32-3397  
Eメール reiko-o@okw-s.jp  
URL <http://www.okw-s.jp>

### 4 事業内容

本社 \* 金属のリサイクル・産業廃棄物の中間処理業  
産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬  
一般廃棄物収集運搬  
リラクゼーション  
O O K A W A \* リラクゼーション

### 5 事業の規模

設立年月日 \* 昭和41年3月29日 従業員数 \* 20名  
資本金 \* 1,000万円  
敷地面積 \* 本社 1,090㎡ 橋店 51.44㎡  
年間売上 \* 2.85億円 (平成28年度)

## 6 許認可

許可	都道府県	登録番号	許可年月日	有効年月日
産業廃棄物処分業許可証		01421010241	H24. 7. 4	H34. 7. 3
産業廃棄物収集運搬許可証	神奈川県指令	1401010241	S53. 10. 30	H30. 10. 31
	東京都	第13-00-010241号	H21. 10. 26	H31. 10. 25
	千葉県	第01200010241号	H23. 1. 28	H33. 1. 27
	埼玉県	01100010241	H23. 12. 1	H33. 11. 30
	静岡県	第02201010241号	H23. 10. 18	H33. 10. 17
	茨城県	0080101241	H24. 9. 6	H29. 9. 5
廃棄物再生事業者登録	神奈川県	第G00198号	H26. 4. 21	H31. 4. 20
一般廃棄物収集運搬業	鎌倉市	第42号	H27. 12. 20	H29. 12. 19
古物商		第452646000087号	S60. 12. 28	
神奈川県公認計量所 30t	神奈川県		H26. 10. 21	

## 7 車輛・設備内容

種類		台数
油圧ショベル	センカイフォーク ZX75US	1
フォーク	ヒンジフォーク	1
フォーク	回転フォーク	1
フォーク	バケット	2
大型ウィング車	13.5t	1
大型着脱式コンテナ	11.5t	1
パッカー車	2t	2
着脱式コンテナ車	4t	1
着脱式コンテナ車	3t	3
リフトゲート付アルミバン	2t	1
ダンプ	2t	1
ダンプ	3t	2
箱バン	2t	1

積み替え保管施設 無

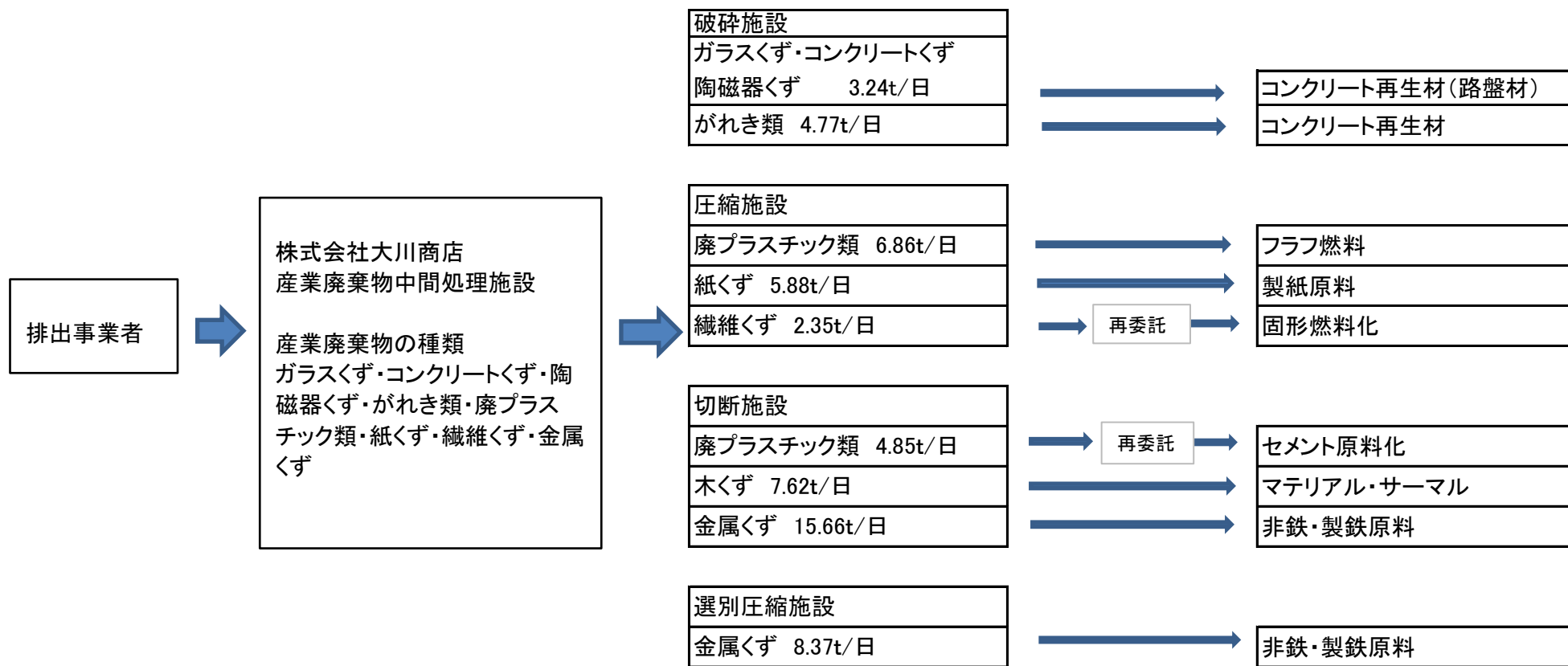
## 8 処理実績（収集運搬量 2016.3~2017.2）

	t
ガラス・陶磁器くず・がれき類	24.8
木くず	1.7
廃蛍光管	0.1
廃プラ	22.3
金属くず	903.935
一般廃棄物	32.18

## 処理実績（中間処理量 2016.3~2017.2）

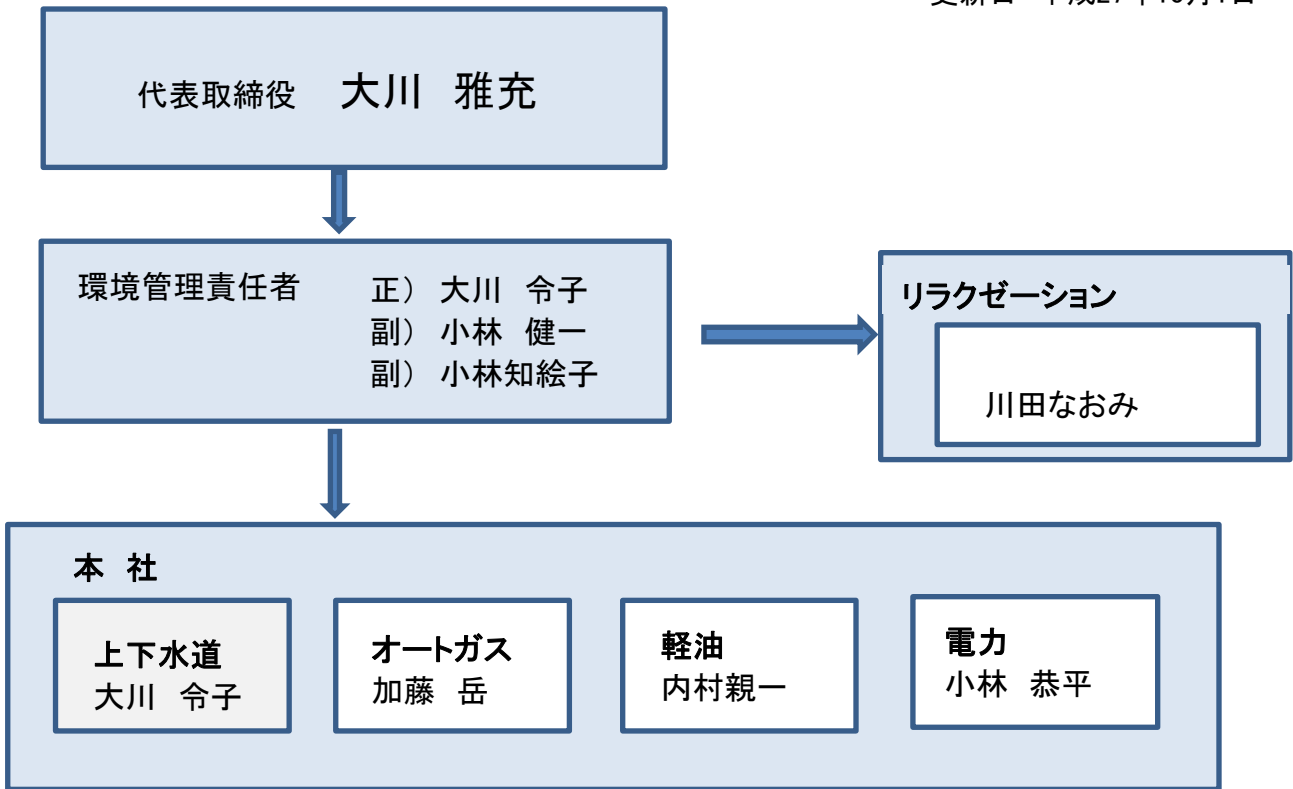
	t
ガラス・陶磁器くず・がれき類	303.7
木くず	91.94
廃プラ	178.1
金属くず	2,915

## 9 施設等の状況



10 環境管理実施体制

更新日 平成27年10月1日



役職	責任および権限
社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施および維持するための処置 2. 社長に対し、環境経営システムの実績報告 3. 推進機関であるEA21EMS事務局の責任者として事務局運営 4. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者
担当責任者	1. 担当部門の総括責任者 2. 環境活動計画の作成と実施

IV 環境目標 (基準値を2015年度に改め目標設定)

【本 社】毎年、代表者による見直しを踏まえて目標値及び達成手段を見直す。

作成日：2012年11月13日 更新日：2016年3月1日

承認	確認	作成
代表者	代表者	環境事務職
大川雅充		大川令子

負荷の自己チェックコア指標	環境方針 (キーワード)	環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	基準値 2015年度		年度毎目標・達成手段 (取組の自己チェックを踏まえて策定)		
					2016 年度	2017 年度	2018 年度
					基準年度比	目標値	目標値
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	116,847.52	基準年度比	110%	110%	113%
			Kg-CO2	目標値	128,532 kg-CO2	128,532 kg-CO2	132,037 kg-CO2
		電力量削減	20,849Kwh	基準年度比	110%	110%	113%
				目標値	22,933 Kwh	22,933 Kwh	23,559 Kwh
		太陽光 (売電)		記録する			
					14,955 Kwh	Kwh	Kwh
		自動車軽油使用量削減 (トラック)	32,008 0	基準年度比	110%	110%	113%
				目標値	35,208 0	35,208 0	36,169 0
		自動車軽油使用量削減 (油圧ショベル)	1,8400	基準年度比	110%	110%	113%
				目標値	2,024 0	2,024 0	2,079 0
		LPG使用量削減 (フォークリフト)	3,191 g	基準年度比	110%	110%	113%
				目標値	3,510 g	3,510 g	3,605 g
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減 紙類の排出削減 (事務用紙 段ボール等)	22kg	基準年度比	100%	100%	98%
				目標値	22kg	22kg	21kg
総排水量	節水	節水	299 m <sup>3</sup>	基準年度比	105%	108%	110%
				目標値	313	323	329
物質投入	グリーン購入	事務用品のグリーン購入 (事務用品を購入する時は環境ラベル等を確認して購入する)		目標値	100%	100%	100%
社会貢献	-	会社周辺の清掃 テント増設 (防音対策)	12回	目標値	1回/月	1回/月	1回/月
受託廃棄物	-	金属くず扱い量の増加	2915.22 t	基準年度比	105%	108%	110%
				目標値	3,060 t	3,148 t	3,206 t
		産業廃棄物処理量	573.7 t	基準年度比	110%	111%	112%
				目標値	631 t	636 t	642 t

化学物質については取り扱っていないため、目標に挙げていない。

電力の排出係数は2015年から0.53kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した。



#### IV 環境目標・計画【リラクゼーション】

作成日：2010年7月29日

更新日：2016年3月

承認	確認	作成
代表者 大川雅充	代表者	環境事務局 大川令子

負荷の自己チェックコア指標	環境方針 (キーワード)	環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	基準値 (2015年度)	年度毎目標・達成手段			
				2016年度	2017年度	2018年度	
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	電力量削減	6,215kwh 3825.27kg-CO2	基準年度比	98%	98%	98%
				目標値	6,090kwh	6,090kwh	6,090kwh
				達成手段	3825.27kg-CO2 省エネランプの交換	3825.27kg-CO2	3825.27kg-CO2
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減 紙類の排出削減 (事務用紙、段ボール等)	6.8kg	基準年度比	98%	96%	96%
				目標値	6.6kg	6.5kg	6.5kg
				達成手段	縮小コピー実施 裏紙コピー実施		
総排水量	節水	節水	125m <sup>3</sup>	基準年度比	98%	98%	98%
				目標値	122.5m <sup>3</sup>	122.5m <sup>3</sup>	122.5m <sup>3</sup>
				達成手段	節水のラベルを貼る 洗濯ですすぎが少ない 洗剤を検討		
環境配慮	-	職場環境の環境配慮	店内の緑化	基準年度比			
				目標値	店内の緑化	店内の緑化	店内の緑化
				達成手段	観葉植物の設置	観葉植物の設置	観葉植物の設置
社会貢献	-	会社周辺の清掃	1回/月	基準年度比			
				目標値	1回/月	1回/月	1回/月
				達成手段	会社周辺の毎月1回の清掃	会社周辺の毎月1回の清掃	会社周辺の毎月1回の清掃

\*リラクゼーション&ネイル 2010年8月OPEN 2016年からネイルは撤退しリラクゼーションのみの営業  
電力の排出係数は0.53kg-CO2/kwhを使用した。

## V 環境活動計画（本社）

（基準値を2013年度から2015年度に変更し目標設定）

中 期 目 標	2016年 年 度 目 標	施 策	責任者
電力使用量削減	10%増 20,849Kwh ↓ 22,933Kwh	空調温度の適正化 （冷房28℃ 暖房20℃） 昼休みの消灯 節電のラベルを貼る 照明のLED化	井上
太陽光発電（売電量） 2015年9月に売電開始	記録する	発電量の確認	大川（令）
軽油使用量削減 （トラック）	10%増 32,008ℓ ↓ 35,208ℓ	エコドライブの推進 急加速・急停車の防止 燃費管理	内村
LPG使用量削減 （フォークリフト）	10%増 3,515kg ↓ 3,866kg	アイドリングストップ 急加速・急停車の防止	加藤
廃棄物排出量削減	前年と同じ 22kg ↓ 22kg	縮小コピー実施 裏紙コピー実施 実績把握	小林（知）
節水	10%増 299m <sup>3</sup> ↓ 328m <sup>3</sup>	洗車を必要最小限に留める 節水のラベルを貼る	大川（令）
事務用品のグリーン購入	100%	ホームページ等で調べて購入	大川（令）
会社周辺の清掃	1回／月	会社周辺の毎月1回の清掃	小林（知）
騒音防止	苦情なし	防音壁の設置 シートシャッターの取付 テント・カーテンの取付	大川（雅）
金属くずの扱い量の増加	105% 2915.22t ↓ 3,060t	許可申請取得による顧客増加をはかる	大川（雅）
油圧ショベル	10%増 1,840ℓ ↓ 2,024ℓ	アイドリングストップ	加藤

## VI-1 環境活動実績及び環境活動の取組結果の評価、次年度の取組内容

### 【本社】

環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	目標値 (基準値は2015年度) 2016年度	実績値 2016年度	結果	評価
二酸化炭素排出量の削減	128,532 kg-CO2	109,965 kg-CO2 15%減	○	○
太陽光発電		7926.15kg - CO2	/	/
電力量削減	22,933Kwh	21,953kwh 5% 減	○	△
自動車軽油使用量削減 トラック	35,208ℓ	29,400ℓ 17%減	○	○
油圧ショベル	2,024ℓ	2,200ℓ 8%増	○	×
LPG使用量削減	3,510kg	3,425kg 3% 減	○	△
一般廃棄物の削減 (事務用紙、段ボール等)	22kg	19kg 14% 減	○	○
節水	313m <sup>3</sup>	261m <sup>3</sup> 7% 減	○	○
事務用品のグリーン購入 (事務用品を購入する時は環境ラベル等を確認して購入する)	100%	グリーン商品を指定し購入	○	○
社会貢献	会社周辺の毎月 1回の清掃	東日本大震災によるボラ ンティア活動	○	○
会社周辺の清掃	1回/月	1回	○	○
産業廃棄物処理量 (2015年度から目標項目に追加)	631t	550.28t 13% 減	×	△
金属くずの扱い量の増加	3,060 t	2945.933 t 4% 減	×	△

○達成できた

△ほぼ達成できた

×達成できなかった

### 【取組結果の評価】

- 電力量削減  
前年と比べると5%増なので目標は達成できていないが評価としては△
- 自動車軽油使用量削減  
前年比 12%減で結果・評価ともに○
- LPG使用量削減  
目標は達成できたので結果は○、しかし金属・産廃が目標値まで達成できていない事を考えると評価は△
- 節水  
洗濯の回数を減らすなど努力し、またガラの産廃も減少したのが反映しているのでは
- 社会貢献  
3月と9月に復興支援のボランティアに参加

全体 産廃をトンに変えてみると前年5%減ではあるが、m<sup>3</sup>で各産廃を分析してみると  
廃プラ（混合廃棄物）が前年14%増となっている。そこで分類、圧縮などの作業等するため  
LPGや油圧ショベルの燃料が増加したと思われる。

### 【次年度の取組内容】

事業内容は変わらないため前年と同様  
社会的には業績を伸ばしていかなければならないなか、省エネにさらに努めていかなければならない。  
目標達成のために施策を継続し、効率良く作業性を高め二酸化炭素の排出量の削減に努めていこう  
社員全体で考えていく。  
取扱量、処理量の増加に努力する。 原単位管理を考える。

## VI-2 環境活動実績及び環境活動の取組結果の評価、次年度の取組内容

### 【リラクゼーション OOKAWA】

環境目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	目標値 2016年度	実績値 2016年度	結果	評価
電力量削減	6,090 k w h 3825.27kg - CO2	5,960 k w h 3,616kg - CO2 3%減	○	○
一般廃棄物の削減 紙類の排出削減 (事務用紙、段ボール等)	6.6kg	5.5kg 17% 減	○	○
節水	122.5m <sup>3</sup>	117m <sup>3</sup> 5% 減	○	○
職場環境の環境配慮 (店内の緑化)	観葉植物の設置	観葉植物の設置	○	○
会社周辺の清掃	1回/月	12回	○	○

○達成できた

△ほぼ達成できた

×達成できなかった

\* リラクゼーション&ネイルは2010年8月店舗オープン

#### 【取組結果の評価】

##### 1. 節水

リラクゼーションの売上が上っているため  
オイルを拭いたりと施術の際の洗濯物が増

##### 2. 一般廃棄物の削減

事務所ではないのでほとんど出ない。現状維持に努める

#### 【次年度の取組内容】

環境活動計画の施策に引続き取組んでいく

## Ⅶ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規・条例・規制	適用内容又は規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬業許可の更新・変更届け	5年毎・変更事項の有無	○
	廃棄物排出事業所との委託契約書	契約内容の確認及び契約書終結	○
	マニフェストの発行	発行後5年間保存	○
	処分先の確認、事業者責任	処分業者許可内容の確認	○
	運搬所領である事の表示の義務	ペイント又はシールで表示	○
	積荷の悲惨・漏えいの防止	積荷の確認・ロープ、シートでカバーする	○
家電リサイクル法	指定家電の回収・運搬	テレビ・エアコン・冷蔵庫等	○
騒音規制法	神奈川県条例及び横浜市条例の規制基準	対象施設ではないが地域住民に配慮して作業する	○
消防法	火災の予防	現場に消火器の設置	○
道路交通法	規制基準の遵守	積載物の重量確認・運転手への教育	○

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。尚、過去三年間において関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## Ⅷ 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度から原単位を導入した。各年度、仕事の内容が違うため2014年度から10年間の平均で原単位基準値を求めていくことにする。今年度の基準値は3年間の平均で燃料原単位は、基準値より1%高く基準値を下回ることが出来なかった。原因は県外の収集運搬が減り、県内の収集運搬が増えたため燃費が悪くなったと思われる。今後はより一層エコドライブを心掛けるようにする。電力原単位は、基準値より7%高く、大きく超えることとなった。原因は人手不足により残業時間が増え電力をより使ったためと思われる。今後は人員を増やし、効率よく作業を進めていきたいと思う。今後は、原単位基準値を減らしていくことが目標となりこれを続けていくこととする。

産廃（収集運搬）	2015年/件	2016年/件
神奈川県	507	634
東京	128	52
埼玉県	8	18
千葉県	9	3
茨城県	14	13
静岡県	0	1
計	666	721